

[主訴]

右膝内側の痛み

[随伴症状]

倦怠感あり、食欲はあるがあまり食べられない（食べると胃もたれする）、肥満あり、眼精疲労なし、足はつらない、足の冷えなし、夜間排尿なし、腰痛少々あり、不眠なし、爪正常、イライラなし、多言あり、下肢浮腫あり

[経過]

3ヵ月前に階段を降りるときに痛みを感じ次第に悪化。一時和らいだものの2か月前に再度痛みだしその痛みが続いている。

整形外科に通院中。リハビリ（筋トレ）を行っている。

[問診]

自発痛はないが歩いていると重だるさと痛みが出てくる。

天気が悪いと倦怠感も強くなり膝の症状も悪化する。

[切診]

膝の熱感はなし。

両膝に変形がみられる。変形性膝関節症と思われる。

膝の内側に圧痛あり。

[腹診]

全体的に力はない。

中脘に抵抗あり。

水分に若干動悸あり。

[脈診]

全体的に幅があり力あり。

左関上が浮にみえる。

[証の決定]

脾虚胃虚熱証

[治療]

脾経を補う。

太白、太淵の補法。

右膝内側圧痛部瀉法。

[備考]

週 1～2 回の継続治療。

4 診で膝の痛みはやや軽減。

足の浮腫は不変、膝内側の圧痛は和らぐ。

10 診で階段の昇降が楽になる。

11 診で以前より浮腫みが改善。

15 診で倦怠感がかなり改善。鍼が倦怠感に効くとは知らなかったと驚く。

25 診で膝の痛みがかなりよくなり階段の上り下りも以前より楽になる。

膝の痛みでまともに出歩けないストレスとこのまま歩けなくなるんじゃないかという恐怖があったため膝痛の改善を喜んでいた。

膝の痛みは脾と肝と腎が絡んでくる。

膝痛以外の病証から腎と肝を外した。

特に倦怠感や胃もたれ等は脾虚の主な病証である。

数回の治療で膝の圧痛はなくなったので基本的に補法での治療になった。